

宮城県日中友好協会

TEL・FAX 022-274-3811

E-メール jcfa-miyagi@rose.plala.or.jp

ホームページ http://www16.plala.or.jp/miyagikenn/



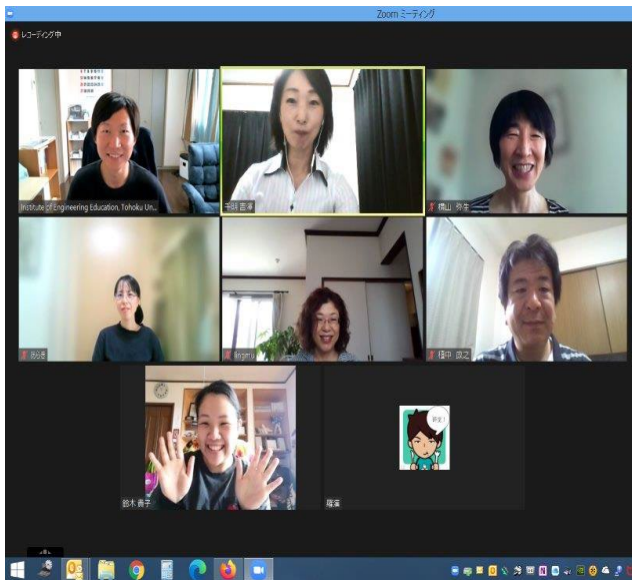
8月、(葉月、はづき)。いよいよ一番苦手な季節がやってきた。何回か書いたように事務所で夏を満喫？している。先月には台風が宮城県に統計上初上陸したが、やはり温暖化の影響か、世界各地でも洪水被害が報道されている。やはり森林伐採が一因なのかとも思っている。

1. 8～9月の行事

日 時	行 事 名	場 所
9月4日 (土)	宮城県日中友好協会定期総会 13:30～ 講演会「パンダについて」講師：武智副理事長	宮城県民会館 601 会議室

※ 各地区協会・委員会の行事報告等あれば掲載いたしますので、ぜひFax, メール等でお知らせください

2. オンライン中国語講座 (青年委員会 吉澤千明)



6月13日、20日、27日の3回制で中国語学習者向けのオンライン中国語講座を開催しました。参加したのは県外在住者2名を含む7名。講師は東北大学工学部助教の羅漢氏。教材は金庸の武侠小说「神雕侠侣」という中国語のドラマ。参加者は事前にYouTubeでドラマを視聴し、分からない表現について講師に質問。講師も重要語句やよく使われる表現をピックアップし日本語で解説してくれました。1回目の講座は初めての顔合わせで参加者は少し緊張気味でしたが2回目で緊張もほぐれて慣れてきた感じでした。3回目の講座は一番活発に質問が出されました。ZOOMのチャット機能を使って漢字を共有することができたのでオンラインでも漢字の確認

をしながら勉強できました。参加者からは「中国語のドラマは中国語の字幕があるので意味が理解できたが字幕がなければ聞きとれないと思った。貴重な学習の場だった。」「生きた中国語が学べてとても良かった。」「皆さんと交流しながら勉強できてとても楽しかった。」という感想が聞かれました。今回県外からの参加者は全国紙「日本と中国」の講座参加者募集を見て参加してくれた方とTwitterのツイートを見て参加してくれた方でした。自分たちの発信していないTwitterのツイートを見て参加してくれた方がいたのでSNSの発信力はすごいと感じました。

3. 浙江古越龍山紹興酒股份有限公司東京事務所、夏良根所長来所について

6月30日(水)「日本と中国」7月号3面に掲載されていた古越龍山東京事務所の夏所長が来所されました。今回来所されたのは、紹興酒の販路拡大と、紹興酒づくりのために必要と考えている有機農業で作られた有機米についての見聞を広めるためだそうです。紹興はご存知のように越王勾践が都を作り、水郷の都市と呼ばれ、書道家の王羲之ゆかりの蘭亭があり、文豪魯迅先生や周恩来首相の出身地でもあります。いただいた資料によれば当地で作られる紹興酒は①元紅酒(辛口の紹興酒で、朱紅色に塗った甕に詰められていた



ことからその名前と呼ばれている)、②加飯酒(仕込み時にもち米と麦麴を増やして作ります。飲まれている紹興酒のほとんどは加飯酒です)、③善釀酒(仕込みの水の代わりに元紅酒を使って醸造した紹興酒。濃厚な味わいと豊かな香りが特徴)、香雪酒(長年熟成した粕取焼酒を水の代わりに使って作る。最も甘口の紹興酒)、花彫酒(女兒の誕生に合わせて醸造し、嫁入りする際に美しく彫刻された甕でふるまったり、嫁入り道具として持たせたりした旧習から来たもので、現在では長年熟成させた高品質の加飯酒の代名詞と

なっています)に分類され、現在、商品として24種が販売されているそうです。コロナ過でなかなか外出もままならない今日この頃ですが、常温でストレート、オンザロック、ソーダ水・ウーロン茶・コーラで割ってレモンを添えて飲むなど試してみてもはいかがでしょうか。

夏氏はコロナ終息の折は紹興酒企画展・試飲会開催や魯迅先生とのかかわり合いから仙台市との友好都市締結に向けて寄与したいとお話していました。

5. これからの県日中の予定

1) 宮城県日中友好協会定期総会

9月 4日(土) 13:30～ 宮城県民会館 601会議室

2) 全日本中国語スピーチコンテスト東北大会

10月31日(日) 14:00～17:00 日立システムズホール仙台(仙台青年文化センター) 3F エッグホール